

# 注射劑処方率評価結果公開

주사제 관련 안내문

2005년 4분기 전체평가기관 서울 양천구 의원 전체

조회

▶ 공개기관 유형별 평균처방률(%) 종합전문요양기관 : 3.59 종합병원 : 9.96 병원 : 26.27 의원 : 27.91

• 요양기관명칭  검색

※ 연도, 분기, 시·도 선택후, 조회하세요.

총 203개의 기관이 검색되었습니다.

번호	소재지	요양기관 명칭	기관유형/의원표시과목	처방률(%)	위치찾기
1	양천구	강봉수가정의학과의원	가정의학과	27.31	위치찾기
2	양천구	강서동남의원	일반	43.90	위치찾기
3	양천구	강서제일의원	일반	41.17	위치찾기
4	양천구	강정수미비인후과의원	이비인후과	5.17	위치찾기
5	양천구	고영석정형외과의원	정형외과	16.15	위치찾기
6	양천구	공내과의원	내과	37.80	위치찾기
7	양천구	굿닥터의원	가정의학과	15.16	위치찾기
8	양천구	권내과의원	내과	27.85	위치찾기
9	양천구	권현민내과의원	내과	12.06	위치찾기
10	양천구	금산부인과의원	산부인과	12.78	위치찾기

인쇄

QUICKMENU



민원전화번호  
 자주쓰는서식  
 병원약국정보  
 각종정보  
 건강보험용어집  
 의학용어사전

FAQ Q&A

한글뷰   
 엑셀뷰   
 PDF뷰



# 患者単位の適正性評価

# 食品医薬品庁による 老人患者への薬物使用の評価

- 食品医薬品庁は老人患者の薬物使用現況分析及び適切性研究を実施。
- 米国のBeer's criteria(科学院サイト参照)に該当する件数。
  - <http://www.niph.go.jp/soshiki/ekigaku/BeersCriteriaJapan.pdf>
- 審査評価院の＜DUR対象医薬品＞中の特定年代禁忌に該当するものの数。
- 2003→2005年の推移をみた

# 65才以上老人患者医薬品処方実績

区分	2003年	2004年	2005年
65才以上老人患者 診療人員	3,438,767 (100)	3,642,307	3,809,727 (110.8)
処方件数	53,436,826 (100)	60,381,830	68,348,960 (127.9)
薬品使用量(個)	45億3,967万	54億9,811万	64億8,697万
65才以上老人薬品 費	8,766億8,131万 (100)	1兆1,757億2,820 万	1兆4,878億6,987 万(169.7)
65才以上老人一人 当たり処方件数	15.54	16.58	17.94
65才以上老人一人 当たり薬品費	254,941	322,798	391,000

# 老人患者への不適切な薬物処方件数の推移

	2003	2004	2005
Beer's Criteria	8,489,889	8,702,918	8,766,770
Propranolol	316,850	346,880	383,466
Methocarbamol	349,856	344,751	364,960
Indomethacin	52.6	56.9	71(124.8)
処方件数	53,436,826(100)	60,381,830	68,348,960(127.9)

- Beer's criteriaに従うと2005年の6835万件の処方中876万件(12.8%)が不適切

# 血液製剤事件の概要

自身の審評院訪問時の担当者からの聞き取り,南商堯柳韓大学教授による調査資料,久保田潔東大薬剤疫学教授の訪問調査を参考に作成。

- 2006年,議員の要求で保健福祉部が審査評価院に「アシトレシンを処方された患者リストを大韓赤十字に提供せよ」と命令。
- 2003年から2006年7月末までのAcitretin(合成ビタミンA誘導体;角化症治療薬)成分を処方された患者251861名の個人情報を赤十字へ提供、赤十字は献血状況及び製造された血液製剤の医療機関への出庫現況を確認した。
- その結果—1285人が2679回献血していた。患者に輸血された血液は3980unitであった。
- 2008年4月,今度は個人情報の2機関の共有が問題に
- 2009年1月血液製剤管理法により,個人情報の共有が法的に認められ,審査評価院は2週間毎に赤十字に危険薬物処方者のリストを提供を再開。
- 現在赤十字は,審査評価院から提供されるリストと献血者を照合し,不適切な製剤は使用しないようにしている。